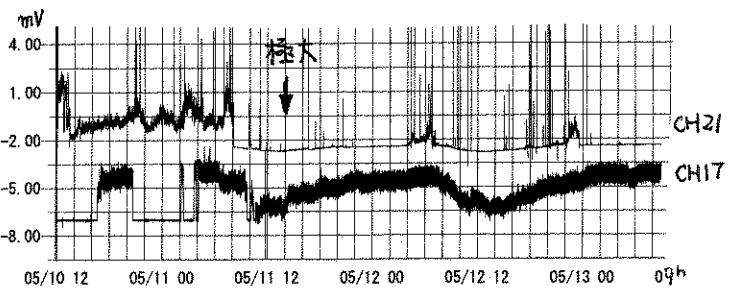
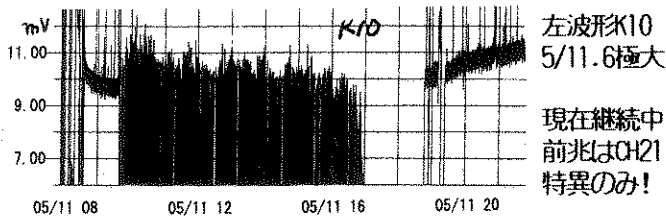
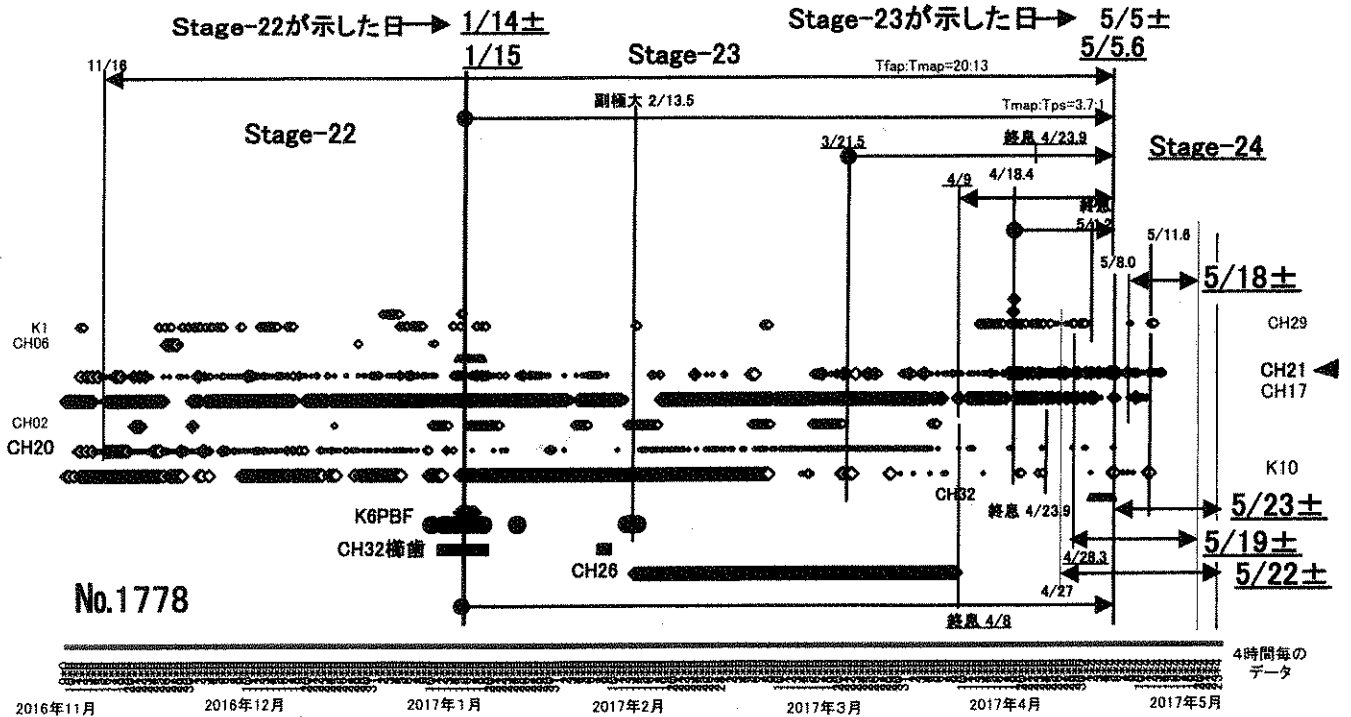


原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆現況報告 5/11.6 極大確認

ステージ24が示す日 若干修正 → 5/19± or 5/23± 驟の前兆終息で決定



継続残存前兆は丸2日以上CH21のみ 8年間で初めて

ステージ23が示した5/5±に対し5/5.6に極大が観測されました。その後、5/11にも極大の可能性を報告致しましたが、5/15.6が極大であることが確認されました。上前兆出現状況図中に記入した前兆関係が正しい場合、5/16±ではなく、5/19±と5/23±の2種の可能性が示唆されます。修正します。右上波形の通り糸状特異が出現していたCH17も5/11昼以降再出現はなく、正常基線を記録し続けます。現在残存継続前兆はCH21特異のみです。8年10ヶ月の前兆継続中、最大では30以上の観測装置に前兆が出現致しましたが、現在はCH21特異のひとつのみ。これは初めてです。CH21の特異前兆が終息すれば、全前兆終息となります。仮に現認識が正しく、5/19±又は5/23±が対応地震発生となる場合で、今後極大が出現しない場合は、CH21前兆は下の時期に終息する可能性が示唆されます。

極大	発生推定	前兆終息時期
5/11.6	5/19.3の場合	5/17.3±
5/11.6	5/23.3の場合	5/20.3±

これを確認することが重要です。5/22前兆継続の場合は再考致します。

- ◆推定領域: 下図 点線領域=大枠 大線領域内=可能性高い
- ◆推定規模: M7.8 ± 0.5 (震源浅い陸域日本列島地殻地震)
- ◆推定時期: 実際の前兆終息を観測後推定
可能性1) 5月19日±2 or 可能性2) 5月23日±2
- ◇推定発生時刻: 午前9時±1時間 (又は午後6時±3時間)

